



Gibson Custom Shop TAK Matsumoto Les Paul TAK Burst



レス・ポール・リシューをベースとして鮮やかで美しいイエローのフィニッシュと、プレイアビリティを重視したスリム・グリップのネック形状にモデファイされたTAK Matsumoto Les Paul Canary Yellowの誕生から1年後の2000年秋、強固な絆で結ばれ続けている松本とギブソンの間に、新たなシグネチャ・モデルの構想が立ち上がった。再び両者の間でさまざまなアイデアや可能性が検討されたが、最終的にそれは松本本人が所有する1959年製のオリジナル・レス・ポール・サンバーストのスタイルを継承する、フィギュアド・トップのサンバースト・フィニッシュというスペックに落ち着いた。新たなモデルの案が具体化するや否や、松本はテネシー州ナッシュビルへと飛んだ。そして実際にギブソン・カスタム・ショップを訪れて、このプロジェクトのスタッフとともに、自らがプレイするプロトタイプに採用する材をセレクトしてフィニッシュの色合いを確認したのだ。そしてこの渡米からおよそ一ヵ月後、B'zの31thシングル"ultra soul"のビデオ・シューティング直前に、ついに新たなシグネチャ・モデルのプロトタイプが到着した。それは繊細かつ力強いサンバーストにフィニッシュされた美しい極上のキルト・メイプル・トップ仕様のレス・ポールであった。このころから

ギブソン関係者の間ではこのモデルに対してTAK Burstという名称が使われ始めた。こうして松本の手に移った新たなシグネチャ・モデル・TAK Burstは"ultra soul"のリリースをきっかけに露出されるや否や、全国の楽器店に前回のTak Matsumoto Les Paul Canary Yellowを買って逃したファンはもちろんのこと、多くの熱狂的なファンからの問い合わせが殺到した。

B'zが今年2001年2月26日から8月8日までに、全国29会場46公演という驚異的なスケールで敢行したツアー、B'z LIVE-GYM 2001 "ELEVEN"。このツアーにおいてTAK BurstはCanary Yellowと同様に、すでに松本の体の一部となじみ、よりヴィンテージを意識した、美しくかつ力強いクラシックなトーンを奏でていた。また現在あらゆる場面で、常に松本が手にするギターとなっていることは周知のとおりである。

その心臓部に、新たなピックアップが搭載されて、さらに高いレベルで完成した、ギブソンと松本の強い絆と信頼関係の結晶と言える、Gibson Custom Shop TAK Matsumoto Les Paul TAK Burstは、今秋満を持して200本の限定生産にて発売される。